

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 つみき第4 保護者等数(児童数) 25 回収数 8 割合 30%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	8	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切である	8	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	0		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	8	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8	0	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1	2		公園で一般の子と一緒に なった時に機会があれば交 流を持っている。ティーン ズセンターの利用を検討し ていく
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ができています	7	1	0		送迎の引き継ぎの際に 活動の様子や家庭での 様子など情報交換に努 める。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言 等の支援が行われている	8	0	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開 催等により保護者同士の連携が支援されてい る	6	2	0		保護者会へ積極的に参 加して頂けるよう周知方 法を工夫していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	8	0	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされている	8	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に 関する自己評価の結果を子どもや保護者に 対して発信している	8	0	0		
	⑭	個人情報に十分注意している	8	0	0		
非常時 等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・ 説明されている	8	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている	8	0	0		
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	8	0	0	とても楽しみに通 所しています。	
	⑱	事業所の支援に満足している	8	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 つみき第4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	0	0	使わない玩具やテー ブルは別室にしまい、活動 室のスペースを確保して いる。	
	②	職員の配置数は適切である	5	0	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	1	3	1		キッチンやトイレなどに段差がある。 必要に応じて対応していく。怪我に は充分注意する。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	4	1	0		意見などがあれば部会などで出し、 必要に応じて法人へあげていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	0	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	0	0	ホームページで公開して いる。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0	4	1		都型移行により2024年より第三者評 価実施予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	5	0	0	定期的に研修がありス キルアップにつながって いる。	内部研修を行っている
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	保護者に対しては希望 者には面談を行なって いる。職員間では部会 で複数人で分析するこ とで、より客観的に判 断出来ている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0		アセスメントツール(太田ステージ) はある。学校生活支援シートに記載 されている方はそれを活用させて頂 いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	立案はリーダーを中 心にチームから意見や アドバイスをもらい、 より良い活動を作成 している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	0	0	定期的に新しい活動 を取り入れたり固定化 しないよう工夫してい る。反対に同じ活動を 定期に行い利用者の 成長を図っている。	常に色々な事にアンテナ を張り活動に活かせる か考えていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6	0	0	休日や長期休暇では 外出など休日ならで はの活動を取り入れ 公共の場における行 動についてなど課題 設定し支援している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	5	0	0	事前の計画だけでなく、 当日の状況に合わせて 個別活動と集団活動 を切り替える工夫を している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	4	0	0	長期休暇時等は出勤 時間の違いから全体 での打ち合わせが難 しい日もある為個 別でリーダーとの 打ち合わせを行う。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	2	0	打ち合わせは行な っていないが共有す べき事項に関しては 都度全体共有して いる。	毎日全員で行う事は 難しいが翌日の 打ち合わせや部会 等で振り返りを行 い全員に周知でき るようにする。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0		その日の担当職員から様子等を聞き記録に残している。
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	2	1		無意識に行っていた部分もあるため放課後等デイサービスのガイドラインを再確認する。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	0		第4には該当児は居ない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	5	0		法人内の児童発達支援事業所からは必要に応じて情報共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	0		情報を求められた事例は無いが必要であれば情報提供を行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	0		必要に応じて行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	2		公園遊び等で機会があれば関わりを作っていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	5	0		法人として参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	送迎時の引き継ぎの際に様子を伝えたり家庭の様子を伺うなど情報共有をしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	2	3		必要があれば支援を検討していく。
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に行なっている。
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	相談があればその都度行なっている。必要に応じて面談を行なっている。	
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	0	年1回保護者会を開催している。	父母の会の活動再開を検討している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0		苦情があった際は苦情マニュアルに沿って対応していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0		毎月つきみ新聞が発行されている。HPでも閲覧できるようになっている。
	③⑤	個人情報に十分注意している	5	0	0	送迎時に書類を持って行く際はチャック付きのファイルに入れている。	チャック付ファイルの運用方法を検討し周知徹底する。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		特にマイナスな出来事などを伝える際は表現方法など伝え方に注意している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	0		地域のカフェを利用させてもらったりイベントへの参加(作品展示)をするなどの交流は図っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	0	職員は会議などで周知できている。	保護者も閲覧できるよう、今後HPIに掲載していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	定期的に避難訓練を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	法人の委員会があり、内部研修も行われている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0		アレルギーに関する指示書はもらっていないが該当児の禁食や対応について保護者と確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリハットがあった際には記録を残している。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。